

令和 8 年度

熊本県立大学 総合管理学部

総合管理学科

特別選抜 学校推薦型選抜

総合問題試験

問題用紙

【注意事項】

- (1) 試験開始の合図があるまで、問題用紙を開いて中を見てはいけません。
- (2) 問題用紙は、この表紙を含めて 15 ページあります。
- (3) 解答用紙の指定の欄に、受験番号、氏名を記入しなさい。
- (4) 問題は、全部で 3 問（問題 1 から問題 3 まで）あります。3 問全てに答えなさい。
- (5) 解答は、必ず解答用紙に記入しなさい。
- (6) 問題用紙の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- (7) 試験終了後、問題用紙及び下書き用紙は、持ち帰ってください。

末尾に問題訂正の内容を添付しています。
(当日配付または板書により周知したものの。)

(試験問題は、4 ページからです。)

(試験問題は、4 ページからです。)

問題 1 以下の英文を読んで、次の問に答えなさい。

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

注

※demographic：人口統計上の / demographics 人口統計

※preliminary：速報

※incentives：奨励策

※mn：million の略語

※net of immigration figures：外国人を差し引いて

※verge：境界

※skew：ゆがんだ

※cohort：同年代層

※fertility rate：出生率

※surge：急上昇

※pent-up：抑えつけられていた

※pandemic：世界的な感染症の流行

※unabated：衰えない

※National Institute of Population and Social Security Research：国立社会保
障・人口問題研究所

出典：Harry Dempsey and Leo Lewis, *Japan births fall to lowest in 125 years*,
Financial Times, Feb 27 2025.

問 1 ①の括弧内に入る語句として正しいものを以下から 1 つ選び、記号で答
えなさい。

- ア estimated
- イ improved
- ウ unaffected
- エ unrelated

問 2 ②の括弧内に入る語句として正しいものを以下から 1 つ選び、記号で答
えなさい。

- ア customer
- イ expert
- ウ society
- エ universe

問 3 以下の文章の中で、本文に書かれている内容について誤っているものを全
て選びなさい。

- ア 去年の日本の出生数は過去 125 年間で最低レベルに落ち込んだ。
- イ 2024 年の出生数は昨年と比べて 5%低下している。
- ウ 人口のおよそ 30%が 65 歳以上の年齢である。
- エ 東京都庁は雇用者が 4 週間働けるようにしている。
- オ 韓国では 9 年間継続的に出生率が上昇している。

問 4 下線部③を日本語に訳しなさい。

問題 2 以下の表は、2023 年と 2024 年の九州各県の人口の転出入者数と社会増減数を表したものである。また、図は、それらの年の転出入数のみを棒グラフにしたものである。この表と図をみて次の問に答えなさい。

著作権保護の観点から、図表は掲載していません。

出典：表・図ともに総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告 2024 年結果」より抜粋して加工

問 1 以下の 1～3 の文章について、①～⑤のカッコ内に入る県名と数字を答えなさい。

1 2023 年と 2024 年を比較して、転出入超過数の増減が最も大きかった県は（ ① ）であり、その差は（ ② ）である。

2 2023 年と 2024 年を比較して、転出入超過数が最も改善している県^{※注}は（ ③ ）であり、その差は（ ④ ）である。

※注：正の値が最も大きくなっている県

3 2023 年と 2024 年を比較して、転出入超過数の増減割合が最も大きかった県は沖縄県であり、その割合を小数点第 1 位まで記入すると（ ⑤ ）となる。

問 2 2023 年には社会増減数がプラスだったものの、2024 年にはマイナスへ転じた県の名前を答えなさい。また、このプラスからマイナスへの変化が生じた理由について、表から読み取れることを答えなさい。

問 3 2024 年に社会増減数がプラスだった県は、福岡県、熊本県、沖縄県の 3 県である。このうち、福岡県と比較したときの熊本県の特徴を 150 字以上 200 字以内で答えなさい。

問題 3 以下の文章を読んで、次の問に答えなさい。

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

出典：山岸俊男『安心社会から信頼社会へ』、中公新書、1999、16-21 頁（一部
改変）

問 1 下線部の a から e について、カタカナで読みが表記されている語は適切な漢字を、漢字で表記されている語はその読みをひらがなで答えなさい。

問 2 ①の括弧内に入る語句として適當ではないものを以下から 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ア 数十
- イ 百数十
- ウ 数百
- エ 数千

問 3 ②と③の括弧内に入る語句として正しい組み合わせはどれですか。以下から 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ア ②－小さい 、③－良い
- イ ②－小さい 、③－悪い
- ウ ②－大きい 、③－良い
- エ ②－大きい 、③－悪い

問 4 下線部④について、信頼についての議論が無用な混乱に陥ってしまうのはなぜか。20 字以内で答えなさい。

問 5 以下の事例におけるツバサの気持ちは、問題文でいう「安心」と「信頼」のどちらに近いと考えますか。あなたが近いと考える方を解答用紙の選択欄からどちらか一つ選んで丸印をつけ、そう考えた理由を 30 字以上 50 字以内で答えなさい。

【事例】

カオルとツバサは友達で、高校で同じ文化サークルに所属しています。2人は文化祭で発表する資料を役割分担して作成することにしました。資料の提出締切日の前日のお昼に、カオルはツバサに「どうしても今日は作業できない。明日の朝までに必ず完成させる」と電話で約束しました。ツバサは「締切は明日だけど、カオルがそういうのだから間違いない」と思ってカオルの担当部分をそのまま任せることにしました。

令和8年度 熊本県立大学 学校推薦型選抜
問題の訂正

総合管理学部 総合管理学科

総合問題

【問題訂正】

○問題用紙 14ページ 問題3の間5について、
以下のとおり訂正します。

(誤) 解答用紙の選択欄からどちらか一つ選んで丸印をつけ、

(正) 解答用紙の間5の解答欄の下の余白にどちらか一つを記入し、